

平成26年度 ニシン漁獲物調査速報(3)

水産試験場が実施しているニシン漁獲物調査において得られた情報について、随時お知らせしています。

1月22日に東しゃこたん漁協(古平地区)に水揚げされた漁獲物の測定調査を実施しましたので結果を報告します。東しゃこたん漁協の皆様、ご協力ありがとうございました。

【結果】

1. 漁獲(表1)

今期は昨年と比べると初漁期からいまひとつの漁獲とのことで、この日は15入のみの出荷で、測定結果から概算される漁獲量は1.3トン(3750尾)でした。魚体は湾内各所と同様に平均350gを超える大型構成となっています。

2. メスの完熟率(表1)

例年のおり、当地の漁場の水深帯が比較的深いため今時期の成熟状態はさほど進行しておらず、これから湾奥に進入してくるとともに成熟が進んでいくものと考えられます。

3. 年齢別尾又長組成(図1)

尾又長組成のモード(最頻値)は30cm台、年齢別には6年魚(2009年生まれ)が77%と、今期序盤から湾内各所で主体となっている年級が大半を占めています。4年魚がほとんど漁獲されていないのが気がかりですが、とくに当地の漁獲物の年齢や生殖腺の状態は湾全体の推移を見通すうえで重要な情報となりますので、今後も注視していきたいと考えています。

表1 銘柄別ニシン漁獲・測定結果

銘柄	15入	合計
漁獲重量(22日出荷分)	1,316.75	1,316.8
漁獲尾数	3,750	3,750
測定尾数	30	30
測定尾数(精密)	30	30
平均尾又長(mm)	308	308.3
平均体重(g)	351	351.1
雌の比率	0.50	—
完熟率*	0.33	—

*メス全体のうち産卵直前の卵を持つメスの比率

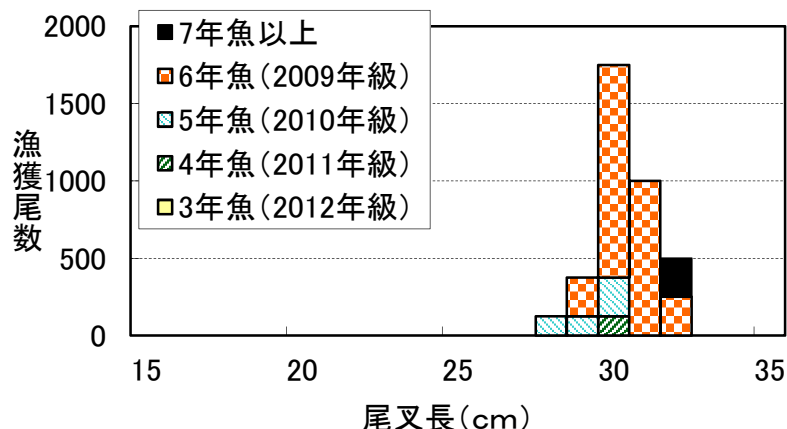


図1 2015年1月22日古平地区 年齢別尾又長組成